



コスモ・スワール うすだ

一人一人が輝き つながり 未来を拓く

「きょうは〜…」

4月7日(月)の朝のことです。私が、昇降口で子ども達を迎えながら朝の挨拶をしていると、1年生の子が、私に「先生、教室の場所が分からない。」と半ベそでやってきました。私は、そのお子さんのランドセルを見て、〇組だと分かり、そのお子さんと一緒に教室まで行くと、また昇降口に戻って、子ども達を迎えながら挨拶をしていました。するとまた、同じお子さんが、「先生、ランドセルを入れる場所が分からない。」と伝えに来てくれました。私は、また、そのお子さんと一緒に教室へ行き、その子のロッカーにランドセルを入れ、昇降口に戻って、再び、子ども達を迎えながら挨拶をしていました。すると、またまた同じお子さんが「ヘルメットを片付ける場所が分からない。」と伝えてくれました。私は、三度その子と一緒に教室へ行き、一緒にヘルメットを片付けました。半ベそだった、その子は、半ベそどころか、8割ベそようになっていましたが、その後、その子が私の所に来ることはありませんでした。

そのようなことがあって数日後の朝、昇降口で、子ども達を迎えながら挨拶している私の背中をたたたく子がいました。ふと後ろを向くと、あの時のお子さんでした。今度は、満面の笑みで、「先生、今日は、教室の場所も分かったし、ランドセルもヘルメットもしまえたよ。」と私に伝え手くれました。

私は、このお子さんの満面の笑みを見ながら、「これが、分かる楽しさなんだなあ」と思ったのです。分からなかった事が分かるようになる。できなかった事ができるようになる。表現できなかったことが表現できるようになる。そのためには、「できない」ということや「わからない」という壁が立ちはだかります。そして、この壁を乗り越える、打破するためには、「そうありたい自分」を願って具体的に想像し、立ち向かっていかなければなりません。

私は、この1年生のお子さんの姿から、学びに向かう力強さと、それを乗り越えて学び取った自信のようなものを感じ、その姿に学ばせていただきました。



運動会を語ろう会

先日、臼田小の職員は、次のような会をもちました。それは「運動会を語ろう会」です。この会では、本年度の運動会について教職員が話し合い、考え合い、臼田小学校の子ども達が主人公となる運動会について語りました。

そこで、私たち臼田小学校の職員は、運動が苦手な子も、得意な子も、それぞれのお子さんが、自分なりの目標をもって、その目標達成のための「過程」を大切にした運動会にしていきたいという考えに至りました。そして、運動会当日までを物語る事ができる、お子さんの姿を思い描きながら運動会までの体育の授業を大切にしていきたいと考えています。

先ほどの1年生のお子さんの姿と重なりますが、「できないことができるようになった。」と、過去の自分よりも成長した自分に出会えた、お子さんの姿と過程を保護者の方と共有することができる場としての「運動会」を開催していきたいと思えます。



校長室から

校長 荻原 司

今年度よりお世話になります荻原 司と申します。よろしく願いいたします。保護者の皆様には日頃より子供たちのためにご尽力いただきありがとうございます。私は「人は出会った人でできている」と考えています。子供たちとの出会いはもちろんですが、保護者の皆さまとの出会いも大切に子供たちをまん中において、統合して3年目を迎える白田小学校をこれまで以上に地域から愛される学校となるよう努力してまいります。さて、本校の学校教育目標は「一人一人が輝き、つながり、未来を拓く」としています。「一人一人が輝き」は、星の町白田の空にも輝く星になぞられて、子ども達一人一人の持ち味とやる気が星のように輝くことを願っています。そのために子ども達が自ら知りたい、できるようになりたいと強く願い、取り組むように支援してまいります。「つながり」は、自分が輝きを放つためには一人でなく周りの友達や先生、おうちの人、地域の人と一緒に学んでいくことが必要となります。そして、人は一人では生きていけません。お互いに「〇〇さんがいてくれてよかった」と思える、自分と相手の心が温くなるつながりをつくっていきたいと思います。「未来を拓く」は、子ども達が学んだ末に訪れる答えが未来にあると考えます。これらのことは私や学校職員だけの願いではなく、保護者の皆様と共有して子ども達の成長を感じていきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。